

地域計画

策定年月日	令和7年2月14日
更新年月日	()
目標年度	
市町村名 (市町村コード)	国頭村 473014
地域名 (地域内農業集落名)	比地・鏡地・奥間・桃原・辺土名地域 (奥間・比地土地改良区)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	143.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	143.1 ha
② 田の面積	11.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	131.9 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	16.5 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

規模拡大希望者への農地の集積集約を図ることが課題であるが農地がなく集積集約が難しい状況にある。

中間管理機構を活用した農地の確保が必要となる。

ほ場の給排水が経年劣化により万全ではないため関係機関と連携した土地改良事業を展開することが近々の課題である。

鳥獣被害、が多い地域である。

住宅地に近接し、猟銃使用が制限されるため、新しい駆除の方法を検討するなど実施していく必要がある。

ほ場の立地条件を生かした農家の労働力の軽減を図る必要がある

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域における農業の在り方については担い手への農地の集積・集約化を進め、さらに農作業の効率化を図ります。また、利用者のいない農地について村内の新規就農者、担い手への農地の集約化に配慮しつつ、必要な条件整備を実施し、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図ると共に自主管理組織を強化する必要がある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農振農用地区域内の土地改良区内のサトウキビ、稲作、園芸作物、野菜類が比較的多く栽培され農業上の利用が行われる区域とする。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	15.4	%	将来の目標とする集積率	56	%
--------	------	---	-------------	----	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

地域担い手への集積、集約化を促進する。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組 地域担い手への集積、集約化を促進する。
(2) 農地中間管理機構の活用方法 将来の経営農地の集約化を目指し、再生可能な農地の所有者に対して遊休地の解消をもとめ、その解消後または解消が見込まれる農地について農地中間管理機構に貸し付ける意向を促して、その農地を地域の担い手又は農業を担う者が活用できるようにする。
(3) 基盤整備事業への取組 農道の舗装整備や農地耕作条件改善事業、かんがい施設の整備など、農業基盤整備促進事業に取り組む。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組 地域内外からの多様な経営体が地域計画区域内で農地を活用したい意向があれば、沖縄県やJAと連携し、地域の意向に沿った農業が出来るよう支援を行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 柑橘、野菜類の栽培管理及び収穫作業については高齢化等により出来なくなる農家が増加するため、栽培管理及び収穫支援サービス事業者による、農作業を委託することを検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒	①鳥獣被害防止対策	☒	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☒	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☒	⑧農業用施設	☒	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害が拡大しないよう防止柵の設置を推進すると共に防鳥ネットによる鳥獣害対策又は電気柵等の設置状況、捕獲体制の構築又は、狩猟免許の取得に向けた取り組むを行う。

②減農薬の推進に努める。

③平坦地の広がりが比較的大きい地区であり農家の集約化及び機械導入によるスマート農業を推進していく。

⑤労働者の不足であるが住居をどのように確保するか地域と連携した住まいづくりに努める。

⑦多面的機能支払交付金事業により排水の汚泥除去等、施設の維持管理に努める。

⑧農道の舗装整備を図るため、農地耕作条件改善事業やかんがい施設の老朽化による施設の更新として農業基盤整備推進事業など整備を推進すると共に自主管理組織を強化する。

⑨耕種農家と畜産農家との話し合いや、調整を進め環境負荷軽減や生産コストの低減を図る耕畜連携の取り組み。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

[illegible]

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4. 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5.備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

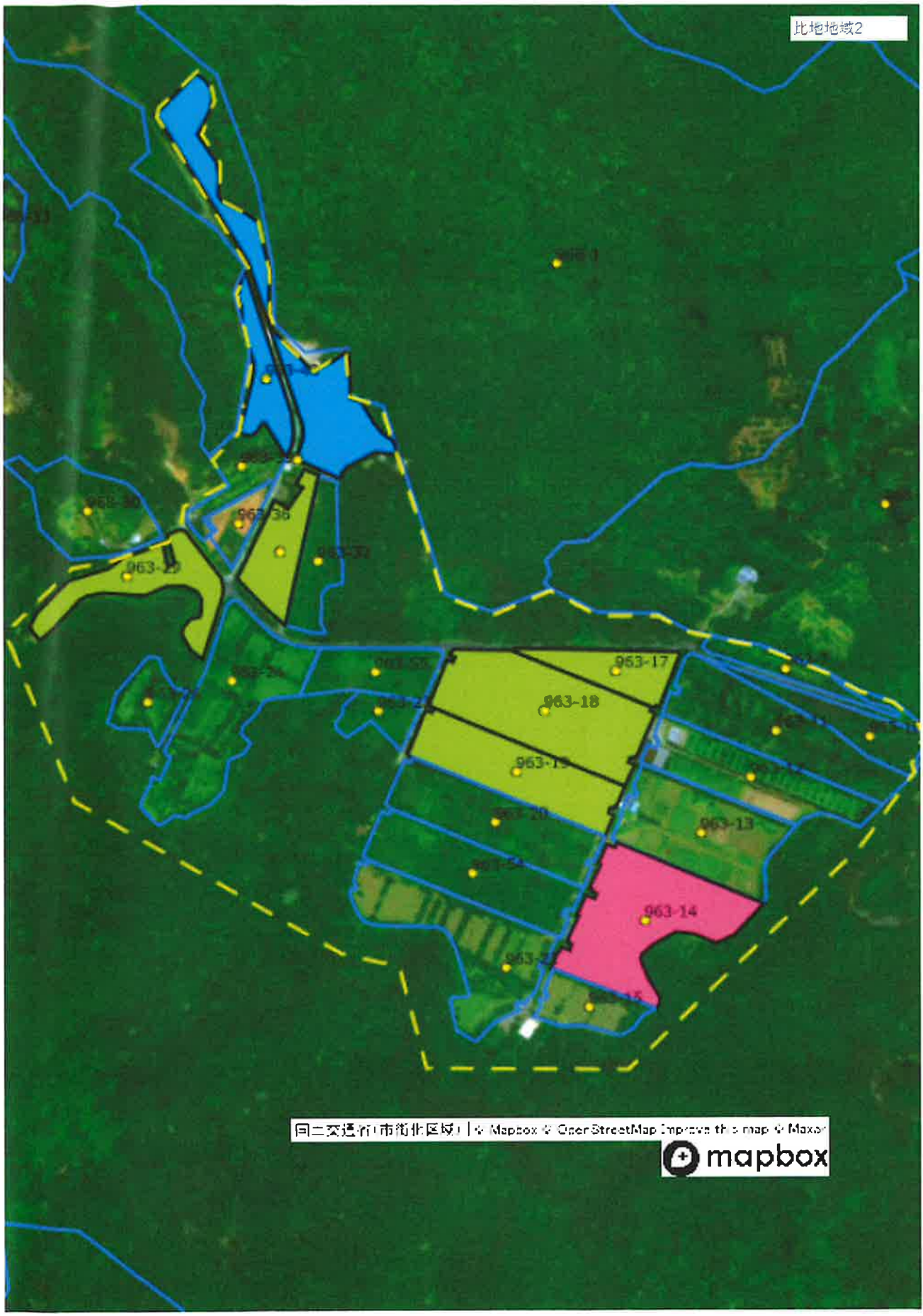
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

比地地域1

国土交通省(市街化区域) | Mapbox | OpenStreetMap Improve this map | Maxar



比地地域2







桃原地域

国土交通省(市街化区域) | Mapbox | OpenStreetMap | improve the map | Maxar



